

無印良品
広島アルパーク

talk show

2023年1月30日 (月) 13:30~

生原商店×クラシノワ舎×竹下ゼミ 産官学連携

「女子大生が地域課題にチャレンジ!

ローカルSDGsプロジェクト」

トークショー&ワークショップ

Event Information

13:30ごろ~

セッション1

大学生による
プレゼンテーション

14:00ごろ~

セッション2

トークセッション
プロジェクト概要
成果・展望

14:00ごろ~

ワークショップ

①ペットボトル
キーホルダー制作
②かぎ針編み講座

スケジュールは変更になる場合があります。


共催：生原商店、クラシノワ舎、竹下ゼミ3年生、EPOちゅうごく・中国地方ESD活動支援センター
協力：三次市 地域振興部 定住対策・暮らし支援課

Concept

女子大生が地域課題にチャレンジ！
ローカルSDGsプロジェクト

 **参加費：無料**
(ワークショップは有料)

 **場所：無印良品 広島アルパーク**
2階 OpenMUJI

 **日時：1/30 13:30~15:00**
14:00~ワークショップ

 **対象：SDGsに関心がある方**
プロジェクト関係者 など

Schedule

13:00

受付開始

13:30

開会・オリエンテーション
登壇者紹介・スケジュール共有等

13:35

セッション①大学生によるプレゼン
プロジェクト成果報告

14:00

セッション②トークセッション
ローカルSDGs・ESD・産官学連携等について

ワークショップ
・ペットボトルキーホルダー制作
・かぎ針編み講座
⚠️ワークショップは閉会后も実施

14:55

閉会
アンケート 写真撮影等

スケジュールは変更になる場合があります。

Member



女子大学生

安田女子大学現代ビジネス学科竹下ゼミ3年生11名。4月から2チームに分かれ、学外活動を開始。本プロジェクトで、生原商店の『瀬織』を活用した新商品開発に取り組んだ。Aチームは「捨てられるものに付加価値をつける」点から着想を得て、ペットボトルをキーホルダー等に生まれ変わらせるワークショップを企画し、12月に開催した。Bチームは、山で家畜を自然放牧する「山地酪農」を三次市で営む三良坂フロマージュの使われていない羊毛と瀬織を活用した『土に還るコースター』を制作し、販売を開始した。



生原 誠之氏

生原商店代表。生原商店では、三次市の浄水場に流れ着いたミネラル豊富な天然泥を乾燥、凝縮した土壌改質材・水質浄化材『瀬織』や、広島県産リサイクル材を使用したコンポストなど、「環境に優しい」をテーマに瀬戸内生まれのサステナブルな商品を取り扱う。本プロジェクトにおいては、大学生に対して生原商店のリソース・情報提供、商品開発の進め方・販売戦略のアドバイスなどを担当した。



徳岡 真紀氏

三次市議会議員。クラシノワ舎代表。クラシノワ舎では、里山の自然の恵みから頂く「衣・食・住・お手当」を暮らしに生かし、未来につなげるため、三次市のお母さんたちと活動を行っている。本プロジェクトにおいては、大学生に対して三次市の情報提供、商品開発や販売戦略のアドバイス、またクラシノワ舎のメンバーとともに、商品デザインや制作のアドバイスなどを担当した。



竹下 智氏

安田女子大学現代ビジネス学科教授。DX、IT&経営戦略、中小ベンチャー、地方創生を研究。本プロジェクトにおいては、プロジェクトマネジメント、商品開発、販売戦略等でゼミ生の活動をサポート。



沖本 晴香氏

EPOちゅうごく勤務。持続可能な社会を構築するため、ローカルSDGs、持続可能な開発のための教育(ESD)の促進に取り組む。本プロジェクトにおいては、プロジェクト全体のコーディネートを担当。